

台湾高等教育評鑑中心基金会（HEEACT）執行長による講演会（概要）

大学評価・学位授与機構
評価事業部国際課

日時：平成26年5月29日（木）14:00～15:50
場所：当機構竹橋オフィス1112会議室
講演者：Ru-Jer Wang（王如哲）HEEACT執行長（※英日逐次通訳）
出席者：32名（大学基準協会、日本高等教育評価機構、東京大学、大学評価・学位授与機構）

講演内容：

- 台湾の高等教育の規模は、ここ10年で急速に拡大しており、現在、161大学に130万人の学生が学んでいる。その一方で、台湾が取り組むべき課題として、高等教育資源の不足の解消や、少子化に伴う学生定員の確保、卒業生の質の向上（企業側のニーズとの一致）が挙げられる。
- HEEACTは、2005年に教育部主導の下、大学等の第三者評価を行う機関として設立された。45名の正規職員、2,000名以上の評価者を抱え、プログラム評価（Program accreditation）と機関別評価（Institutional accreditation）を実施する。現在は、2期目のプログラム評価（2012～2016年）を実施中。
- プログラム評価の結果は、報告書の形式（中文）でウェブサイトに掲載。さらに、評価結果を一覧化した英文・中文の検索サイト（Taiwan Higher Education Institutions Accreditation Results: TWHEIAR）も整備。
- 評価活動に関連して、評価者向けの研修の実施や、電子ジャーナルや書籍を刊行。
- 国際連携活動としては、国際的な質保証機関ネットワーク（INQAAHE、APQNなど）に加盟。また、海外の質保証機関との連携活動や、年次国際会議を実施。
- HEEACTにおける今後の役割・展望として、プログラム評価をはじめとする大学評価システムの不断の改善、大学のパートナーとしての教育の質向上の支援、評価者の専門性を高めるための研修制度の確立、他の評価機関に対する支援活動の展開、高等教育質保証や国際連携の基盤（プラットフォーム）強化などが挙げられる。



講演する HEEACT の王執行長